

現行戦略の概要及びこれまでの主な取組み

現行戦略の概要① 策定趣旨等

■ 新・富山県ものづくり産業未来戦略（H31.3策定）

○ 策定趣旨

第4次産業革命の進展などに的確に対応し、本県の強みである素材分野の技術や産業集積を活かし、**県内企業が生産性向上や新技術開発**に取り組み、**競争力を高める戦略**を策定

○ 役割

- ・ 短中期的な本県産業振興施策へ反映させる指針
- ・ 国施策への反映を働きかけ

○ 計画期間

2019（平成31）年度から2023（令和5）年度まで

現行戦略の概要② 内容構成

第1章 本戦略の位置づけ

- 1 本戦略策定の趣旨 2 性格と役割 3 計画期間 4 計画の実行性の確保

第2章 最近のものづくり産業を取り巻く環境と本県ものづくり産業の強み

1 最近のものづくり産業を取り巻く環境

- ・第4次産業革命によるイノベーションの進展=IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、5G、デザイン経営
- ・生産年齢人口の減少=女性や高齢者就業率の向上、人手不足感、求められる人材の変化
- ・アジア経済の発展
- ・北陸新幹線などの交通基盤の整備

2 本県ものづくり産業の強み

- ・素材分野の産業集積
- ・世界に誇る高い技術力
- ・設備が充実した県立試験研究機関

第3章 総論

1 ものづくり産業を取り巻く環境に対する対応

- ・第4次産業革命によるイノベーションの進展への対応
- ・ものづくり人材不足への対応 など

2 本県ものづくり産業の将来像

分野横断的技術をベースに、デザイン思考のもと、産学官連携、企業間連携によるオープンイノベーションを進め、デザインやIoT、AIなどを活用し、新たな付加価値や新事業を創出。「縦割り」産業構造から、様々な成長産業に多面的に展開する「ハケ岳」状の産業構造へ転換。付加価値を「もの」そのものから、サービスなどを含めた「コト」への広がりを生み出す

3 必要な施策の方向性

- ・とやま成長産業創造プロジェクトの推進
- ・分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出
- ・ものづくり人材の育成・確保
- ・北陸新幹線等を活かした成長産業の集積を促す企業誘致、県内企業の販路開拓
- ・アジア等の海外展開への支援
- ・中小・小規模企業に対する総合的支援

第4章 本戦略推進にあたっての必要となる取組み

1 とやま成長産業創造プロジェクトの推進

- ①医薬・バイオ②医薬工連携③次世代自動車④航空機
⑤ロボット⑥環境・エネルギー⑦ヘルスケア

2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出

○オープンイノベーションの推進

- ・大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化
- ・成長産業（ヘルスケア産業等）における新たなコンソーシアムの構築

○コネクティッド富山の推進

- ・IoTを活用した自社内での最適なエンジニアリングチェーンの構築
- ・付加価値の高い新製品・サービスの開発（コトづくりへの広がり）

○デザインによる高付加価値化

- ・クリエイティブ・デザイン・ハブを活用した異業種連携（デザイン思考の導入）による新商品開発等

○本戦略の進行管理や新しいプロジェクトを生み出すため、その研究分野等を検討する推進会議の設置（とやまイノベーション推進会議）

3 ものづくり人材の育成・確保

- ・IoT等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保
- ・リカレント教育、職業能力開発の充実
- ・移住・Uターン、Tターンの促進
- ・女性・高齢者など多様な人材の活躍推進
- ・グローバル人材の活躍

4 北陸新幹線等を活かした成長産業の集積を促す企業誘致、県内企業の販路開拓

- ・成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致
- ・販路開拓、ものづくり技術の発信

5 アジア等の海外展開への支援

6 中小・小規模企業に対する総合的支援

- ・IoT等の導入支援
- ・技術等のある企業の事業承継支援
- ・創業・ベンチャー支援
- ・県と(公財)富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

これまでの主な取組みと課題

1 とやま成長産業創造プロジェクトの推進

県内企業の独自技術、大学、県立試験研究機関の技術シーズや充実した設備、医薬・バイオ分野やアルミ分野のコンソーシアム等の推進基盤が確立されている強みを活かし、成長産業分野での新たな技術・製品開発を目指す

現行の戦略

① 医薬・バイオ

- ・「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムによる産学官が連携した世界水準の研究開発等の推進
- ・バイオ医薬品等の付加価値の高い製品の研究開発の促進
- ・医薬・バイオ分野の専門人材の育成

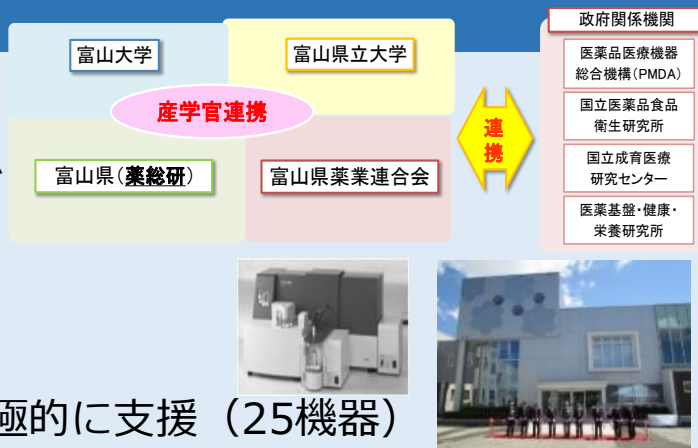
これまでの主な取組みと課題

● 医薬品の研究開発、専門人材の育成

- ・「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム

● 製薬企業の開発・製造支援

- ・製剤開発支援センター
医薬品メーカーによる新しい製品の研究開発を促進
- ・創薬研究開発センター(H30.5月開所)
バイオ医薬品など付加価値の高い医薬品の研究開発を積極的に支援（25機器）



◇ 日本を代表する医薬品生産拠点

◇ 新薬・ジェネリック医薬品からOTC医薬品、配置薬、原薬まで多種多様な製薬企業が集積（製造所数100超）

【課題】 バイオ医薬品などの付加価値の高い製品の開発・製造、産学官連携による研究開発、人材育成の一層の推進

②医薬工連携

- ・製薬企業と医薬品関連ものづくり企業とのニーズ、シーズのマッチング
- ・富山大学メディカルデザインセンター（仮称）等と連携した、医療現場での潜在ニーズの探索とこれに基づく新技術・新製品の開発
- ・医療機器・福祉機器等の試作及び開発の促進、販路開拓の推進

これまでの主な取組みと課題

●医薬工連携研究会

- ・勉強会等を実施(事例紹介や医療現場関係者からのニーズ発掘)
- ・県内企業の高い技術や製品を紹介・マッチングする「とやま医薬工連携企業データブック」を出版
- ・共同で医療機器展示会「HOSPEX Japan」等に出展

●富山大学メディカル・デザインプロジェクトとの連携

- ・医療現場の見学会・座談会(富山大学附属病院など)



◇医薬工連携研究会員数 45機関 (H30) ⇒ 77機関(R4)

◇新たに医療機器等の新規参入を目指す企業に対し、研究開発や販路拡大のPR活動等を支援

【課題】 医療機器等の分野に関する高い参入障壁を打開するため、専門性を備えた人材による伴走支援

③次世代自動車

- 自動車の電動化（EV、FCV、ハイブリッド車等）や自動運転の動きを見据えたセンサ技術等の活用による新技術の開発
- とやまアルミコンソーシアムでの高機能素材を用いた軽量・高強度部材の開発

これまでの主な取組みと課題

●自動車・蓄電池研究会（R3～）

- ①技術セミナー 870名(計17回) EV・FCV・HVの最新技術セミナー
- ②先進地視察 64名(計2回) SUBARU矢島工場（群馬）など
- ③商談会開催 とやま次世代自動車新技術・新工法展示商談会（R1）
- ④研究開発支援 蓄電池用電極薄帯の製造技術開発（R4）

●産学官連携の研究開発

- 高強度と高靱性を両立したプラスチック自動車部品向けCNFの開発 など

◇自動車・蓄電池研究会員数 132機関（H30、とやま次世代自動車研究会）⇒159機関(R4)
多くの県内企業が自動車関連の部品を製造し、さらなる技術革新や製品開発が期待できる

【課題】EV化による新市場の拡大に対応するため、高い技術力を有する県内企業の新たなビジネスチャンスの創出

④航空機

- 航空機部品受注のために必要な品質マネジメント規格JISQ9100や特殊工程の国際認証制度Nadcapの認証取得の促進
- 欧米の航空機メーカーとの連携に向け、県内部品メーカー等の国際展示会への出展

これまでの主な取組みと課題

●航空機産業認証取得支援事業

- ライセンスJISQ9100、Nadcapの取得補助（R4:(株)ユニゾーン）

●航空機産業国際的販路開拓事業

- 航空機部品共同受注グループ「ソラトヤマ」による出展（第三回エアロマート名古屋2019
シンガポールエアショー2020、第四回エアロマート名古屋2021）



- ◇(株)タナカエンジニアリングが次期基幹ロケット「H3ロケット」用エンジン部品と機体バルブ部品を受注
- ◇富山県航空機産業交流会会員数：111機関（R4）

【課題】 持続可能燃料など航空機の次世代化や、衛星データの利活用支援など、産学官による航空宇宙分野への支援の一層の推進

⑤ロボット

- ・ センサ技術を活かし、今後成長が期待できる分野（介護ロボット等）への参入
- ・ 人手不足などの課題解決に向け、工場全体をデザインしたFA（協働ロボット等）の導入
- ・ ロボットを活用するためシステムインテグレーターの育成

これまでの主な取組みと課題

●とやまロボティクス研究会

- ・ 技術セミナーやロボット利活用推進WGでの研修を通じた人材育成
- ・ IoTを活用したスマート工場などの視察（R1:三菱電機(株)など）
- ・ 国際展示会への共同出展（2019,2021国際ロボット展）

●センサ技術を活かした製品

- ・ 世界初の無線足裏荷重分布センサの製品化に成功（R2:(株)オーギヤ）

◇とやまロボティクス研究会：154機関（R4）

◇ロボット利活用推進WGによるシステムインテグレーターの育成：93人（R1～R4）

【課題】人口減少への対応と、柔軟で多様な働き方の実現を目的とした、ロボットとAIの融合による生産性向上支援の推進

⑥環境・エネルギー

- FCVや水素ステーションなどの水素関連産業への参入
- とやまアルミコンソーシアムでの軽量・高強度・高耐久性の水素容器の開発、アルミの熱伝導性を活かした新製品の開発

これまでの主な取組みと課題

●燃料電池車両導入補助事業

- ①FCV 採択数 18件(R1~R4)
- ②FCフォークリフト(R5新規)

●水素・燃料アンモニア研究会、次世代再生可能エネルギー研究会 (R3~)

- ①技術セミナー 791名/計17回
- ②先進地視察 水素製造施設FH2R (福島県)

●北陸初の商用水素ステーションを開設 (R2)

●研究開発支援 廃棄Mgを活用した水素製造 (株北酸)



◇水素・燃料アンモニア研究会員数:73機関(R4)

◇次世代再生可能エネルギー研究会:51機関(R4)

【課題】 温暖化対策によって成長が期待される産業への県内企業の参入等の一層の促進

⑦ヘルスケア

- ・ヘルスケア産業研究会や生活工学研究所に新設するヘルスケア製品開発拠点等における「とやまヘルスケアコンソーシアム（仮称）」の形成を目指した製品開発
- ・コア技術の展開、事業化に資する取組みへの支援及び研究開発への支援

これまでの主な取組みと課題

- 県産業技術研究開発センター生活工学研究所に「ヘルスケア製品開発棟」を開設（R1）**
 - ・生活環境シミュレータ・女性型サーマルマネキン
 - ・快適感覚計測システム など
- ヘルスケアコンソーシアムの設立（R1）**
 - ・とやまのヘルスケアのブランド化を図る

- ◇ヘルスケア製品開発棟を活用した機関（企業・大学等）の支援実績 計64機関(R4)
- ◇人の感覚、生理の測定・評価により、医療用品(マスク)などの製品化を支援
（株）松井機業場、エステアール(株)

【課題】コンソーシアムを通じた「シーズ」や「ニーズ」等の周知によるイノベーションの一層の推進

2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出

デザイン思考の考え方を基本とし、分野横断的なイノベーション手法を、「とやま成長産業プロジェクトの一層の推進」や「新たな分野への参入、付加価値の創出」を図るための推進エンジンとして位置付け

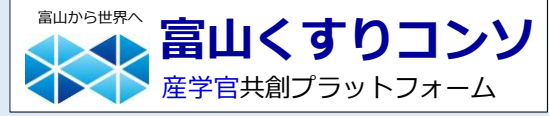
現行の戦略

(1) オープンイノベーションの推進①

- ・ 大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化
- ・ 成長産業（ヘルスケア産業等）における新たなコンソーシアムの構築

これまでの主な取り組みと課題

くすりのシリコンバレーTOYAMA創造コンソーシアム



● 早期事業化に向けた医薬品の研究開発の推進

富山大学、富山県立大学、県薬事総合研究開発センターにおいて、専門家の支援のもと、研究テーマの早期事業化に向け研究開発を推進

R5年度から新たに、富山大臨床研究管理センターにおける臨床試験のDX化や、県立大DX教育研究センターと連携した医薬品生産の技術革新に取り組む

● 「くすりの富山」を支える専門人材の育成・確保

・ 全国の学生を対象にサマースクールを開催し、医薬品の品質管理・保証、製剤開発、先輩社員とのweb交流など「くすりの富山」ならではのカリキュラムを提供

(R4受講者数：92名)

・ バイオ医薬品専門人材育成研修を実施

(R4受講者数 大学院生向け：6名、社会人向け：座学34名、実習10名)

● ホームページやSNSを活用した情報発信

◇ 「競争力のある製薬（造る）」と「富山発の創薬（創る）」の取り組みを強化

【課題】アカデミア発シーズの発掘と事業化の推進、富山で製薬・創薬を体系的に学べる人材育成プログラムの構築

(1) オープンイノベーションの推進②

- 大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化
- 成長産業（ヘルスケア産業等）における新たなコンソーシアムの構築

これまでの主な取組みと課題

とやまアルミコンソーシアム

●アルミのリサイクル（グリーン化）に向けた取組み

- ① アルミのグリーン化技術に関する研究開発（5テーマ）
- ② 循環型アルミ産業網強化に向けた研究会（11回）
- ③ DXアプリケーションの開発（県立大学）

●アルミの特性を活かした研究開発（4テーマ）

●アルミサンドボックス事業

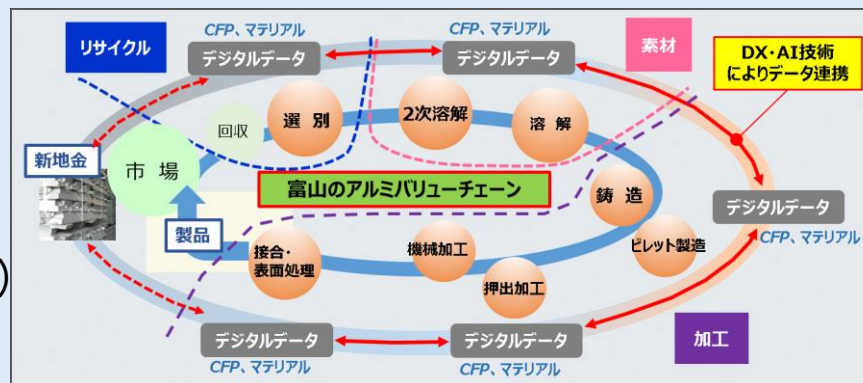
企業が有する課題の把握し、新たな事業を創出（4社）

●アルミ人材育成事業

- ① 県内学生 インターンシップ（23名 富山大, 県立大, 富山高専）
- ② 県外学生 インターンシップ（18名 東京大, 東工大, 日本大 他）
- ③ 社会人 セミナー（講師：国際的な研究者）

◇リサイクルアルミの研究開発や、県内の循環型アルミ産業網の強化などの取組みを実施し、県内アルミ産業の振興に貢献

【課題】循環型アルミ産業網強化など、資源循環や循環経済の観点による、県内アルミ産業全体の活性化に資する支援の推進



(1) オープンイノベーションの推進③

- ・大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化
- ・成長産業（ヘルスケア産業等）における新たなコンソーシアムの構築

これまでの主な取組みと課題

とやまヘルスケアコンソーシアム

●ヘルスケア商品化サンドボックス

- ① シーズ志向型のヘルスケア商品の開発（4テーマ）
- ② 現場ニーズに基づく製品の開発（5テーマ）
- ③ 最新トレンドを製品テーマとした開発（1テーマ、フェムテック）

●ヘルスケア産業研究会の運営

- ① コーディネート活動による製品化へのサポート
- ② セミナー・勉強会の開催（計24回）
- ③ 課題解決型ワークショップの開催（計4回）
- ④ 介護施設等の現場見学会（R4:特別養護老人ホーム）
- ⑤ ヘルスケア製品展示会への出展（R4:6社、CareShowJapan2023）



- ◇とやまヘルスケアコンソーシアム会員数 35機関（H30） ⇒ 76機関（R4）
- ◇新たなヘルスケア製品開発を目指す企業間と産学官のコーディネート活動実績：延べ458機関（R1～R4）

【課題】コンソーシアムを通じた「シーズ」や「ニーズ」等の周知によるイノベーションの一層の推進

(2)コネクティッド富山の推進

- ・IoTを活用した自社内での最適なエンジニアリングチェーンの構築
- ・付加価値の高い新製品・サービスの開発（コトづくりへの広がり）

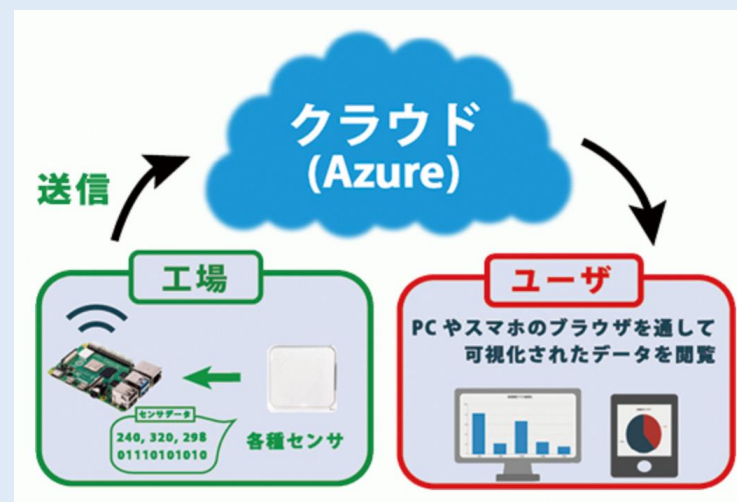
これまでの主な取組みと課題

●県内企業のデジタル化支援

- ・富山県IoT推進コンソーシアムを通じたIoTプラットフォームの普及や、DX未着手企業への普及啓発・経営相談など、企業のデジタル化の段階に応じた、きめ細かな支援を実施。

●産業技術研究開発センターにおけるIoT利活用支援

- ・遠隔地からのデータ収集・解析に関するノウハウを蓄積し、県内企業におけるエンジニアリングチェーンのIoT化を促進。
- ・CAEやAIなど最先端のデジタルものづくり技術の体験会の実施。



◇県IoT推進コンソーシアム会員企業のIoT導入率 34.5% (R1) ⇒ 44% (R5)

◇県内のローカル5G導入企業（製造業）の累計件数 2件 (R4実績)

【課題】最先端のデジタルものづくり技術の導入支援に加え、IoT未導入企業を含めた県内企業全体のボトムアップを図るDX支援策など、支援体制の一層の拡充が重要

(3) デザインによる高付加価値化

- ・クリエイティブ・デザイン・ハブを活用した異業種連携（デザイン思考の導入）による新商品開発等

これまでの主な取り組みと課題

● 未来研究会の開催

各分野から第一線の講師を招き、技術革新・未来の生活像を共有

＜分野例＞ 素材、医薬、移動、ヘルスケアなど
(計13回)



● プロジェクト会議

自社技術を多角的に把握

⇒異業種連携新プロジェクト創出へ。

プロジェクト例：素材（アルミ押出技術の活用）、
移動（パーソナルモビリティ）、
ヘルスケア（歩行器の開発）など



- 【課題】** ①デザインの活用や先駆的な取り組みへの企業理解の向上
②プロジェクト創出には至るが、企業等での商品開発に至らない。

(4) とやまイノベーション推進会議の設置

- 本戦略の進行管理や新しいプロジェクトを生み出すため、その研究分野等を検討する推進会議の設置

これまでの主な取組みと課題

● 「とやまイノベーション推進会議」を設置(R1.7.24)

- ① 県や県新世紀産業機構によるコンソーシアム、各研究会等の取組みの情報共有
- ② コーディネート機能の充実ため、産学官連携を担うコーディネートの在り方を検討
- ③ 新しいプロジェクトを生み出す研究分野の検討するため、大学や試験研究機関からの技術シーズの提供

● アルミ、ヘルスケアコンソーシアム推進委員会の開催

⇒ 本県の中核的産業であるアルミ産業の振興やヘルスケア産業創出に向けて推進する事業の取組みの現状や施策の方向性を検討

- アルミリサイクル（グリーン化）の研究開発、とやまヘルスケア商品化に向けた開発支援
- 事業化・製品化を推進するための販路開拓支援
- 専門人材の育成・確保のための技術セミナーや県内外学生インターンシップなどの人材育成



【課題】 オープンイノベーションのあり方、新たなプロジェクトについて継続的検討

3 ものづくり人材の育成・確保

生産年齢人口の減少の中、多様な人材の確保とともに、先端技術を活用できる人材の育成・確保

現行の戦略

(1)IoT等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保

- ・ 大学、県立試験研究機関、産業支援機関における推進体制の強化
- ・ 成長産業（ヘルスケア産業等）における新たなコンソーシアム構築

これまでの主な取組みと課題

●IoT等のデジタル技術を活用できるIT人材の育成

- ・ (公財)富山県新世紀産業機構にIoT等推進コーディネーターを配置し、中小企業等に対してIoT等に関する総合的な相談対応や出前講座、指導者の育成及び派遣を実施

●先端技術を活用できるものづくり人材の育成

- ・ 県内企業の研究人材を対象に大学や県立試験研究機関への人材交流を実施。
最先端技術を活用した課題解決型の研修を行い、知識や技術を現場で活用できる人材の育成を実施。



◇IoT・AI活用指導者育成研修：44人（R1～R3）

◇若い研究者を育てる会：22人（R1～R4）

◇産学官協働ローカルイノベーション創出事業(人材育成)：11人（R1～R4）

【課題】県内ものづくり人材の次世代化を担う人材に対する、先進地視察や情報収集などの人的投資の促進

(2)リカレント教育、職業能力開発の充実

- ・人生100年時代到来をふまえた「人づくり革命」に資する社会人の学び直しの推進
- ・段階的・体系的な職業能力開発、オーダーメイド型研修の実施

これまでの主な取組みと課題

リカレント教育

- **富山県高等教育機関リカレント教育推進事業費補助金(H31～)**
 - ・県内高等教育機関が実施する社会人向けのリカレント教育講座に対し補助を実施（R1～R4：8講座に対して補助）



企業ニーズに対応した職業訓練の推進

- **県技術専門学院等における在職者訓練の推進**
 - ・オーダーメイド型を含む企業ニーズに対応した人材育成の支援
- **技術専門学院のリニューアル（R4～）**
 - ・県内企業の人材ニーズを踏まえた訓練科、カリキュラムの充実、実習棟・機械器具の整備
- **リスキリング支援（R5.1～）**
 - ・国の人材開発支援助成金と歩調を合わせ、県内企業が生産性向上等を目的として行うリスキリングの取組みに対し、経費の一部を補助

【課題】 デジタル化への対応など、企業が環境の変化に対応するためには、新たな人材確保のみならず、特にリスキリングの取組みが重要。企業や求職者のニーズを踏まえた質の高い訓練の実施、企業の生産性向上の原動力となるリスキリングを促進

(3) 移住・Uターン、Tターンの促進

- ・ 支援体制充実、大都市圏での就職セミナー実施、Uターンによる起業、就業者の創出
- ・ 大都市圏大学等との就職支援等に基づく大学訪問会や企業視察会等の実施、理工系・薬学部生対象奨学金返還助成制度の実施
- ・ 学生や社会人等の求職者や企業に対するワンストップ支援
- ・ 県内ものづくり企業の魅力発信と県外出身学生の県内就職(Tターン)推進
- ・ ものづくりプロセスを体験できる先進的なインターンシップの実施

これまでの主な取組みと課題

県外学生のUターン就職支援

● Uターン就職促進イベント

「県内企業就活バスツアー」、「県内IT業界研究セミナー」等を開催

● 理工系・薬学部生対象奨学金返還助成

県内企業に就職した場合、企業と県で奨学金返還を助成

● 「帰ってこられ！Uターン就職応援助成制度」

Uターン就職活動に係る交通費を支援（補助率1/2 年度内2回まで）



県内学生のTターン就職支援

● Tターン推進強化事業

県内4大学と連携し、「Tターンカフェ」（学生と県内企業若手社員との交流会）の実施

● 県内企業のインターンシップ導入支援

県内企業を対象としたインターンシップ導入セミナーを実施

県内ものづくり企業の魅力発信

● 県内企業の情報提供の強化

企業情報サイトのリニューアル、新たな情報発信機能の構築（LINEによるプッシュ型の発信）

【課題】 Tターン・Uターン就職を考える富山県の関係学生に対し、県内企業の情報や就職支援を確実に届ける。

(4) 女性・高齢者など多様な人材の活躍推進

- 女性のキャリア形成などによる職場定着、女子学生等のものづくり企業への就業支援、潜在的な女性求職者の掘り起しやマッチング支援
- 専門的知識等を有する高齢者のマッチング支援、シルバー人材センター就労要件緩和による求人開拓、会員拡大
- 障害をもつ学生、社会人に対する就業支援

これまでの主な取り組みと課題

女性の就職支援

● 就活女子応援カフェ

女子大生と県内企業の女性社員との座談会

● 煌めく女性リーダー塾の実施 H25~R4卒塾生：529名

● 「とやま女性活躍企業」認定制度の創設 R4：32社

● 女性のキャリアデザイン応援事業

ライフイベントに応じた切れ目のないキャリア形成支援

● 女性就業支援センター

女性の就業に関する相談をワンストップで受け付けるとともに、女性向けセミナーの開催や仕事体験等の機会を提供



高齢者の就職支援

● とやまシニア専門人材バンクの運営

専門的知識・技術等を有する高齢者と県内企業とのマッチング支援



障害者の就労支援

● 障害者の一般就労トータルサポート事業

障害者の採用準備から職場定着への一貫した個別支援、障害者・家族等と企業との交流会

**【課題】 女性や高齢者、障害者など多様な人材が活躍できるよう継続した支援を実施
女性から選ばれる職場環境づくりの推進**

(5) グローバル人材の活躍

- ・ 高度な技術や知識をもつ外国人留学生と県内企業とのマッチングの支援、採用・定着に向けた支援
- ・ 外国人技能実習生の育成の支援及び適正な実施
- ・ アジアの現地人材と企業とのマッチング機会の提供

これまでの主な取組みと課題

高度外国人材活用の普及促進

● アジア高度人材受入事業

- ・ アジア諸国の理系大学生と県内企業とのマッチング及び入国前の日本語教育等を実施

● 外国人材採用・就職サポート事業

- ・ 「とやま外国人材活用支援デスク」を設置し、外国人材受入れの啓発セミナー、相談対応・マッチング支援を実施

外国人技能実習生の活用への支援

● 外国人材日本語習得サポート事業

- ・ 企業が実施する技能実習生への日本語研修に対し補助

【課題】 国際的な人材獲得競争が激化する中、外国人材の県内企業への供給ルートの確保及び定着・活躍に対する支援

4 北陸新幹線等を活かした成長産業の集積を促す企業誘致、県内企業の販路開拓

成長性の高い分野の企業を重点的に誘致するとともに、県内企業の商取引の拡大を支援

現行の戦略

(1) 成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致

- 優れた技術を持った成長性の高い企業を重点とした企業誘致の推進
- 北陸新幹線沿線県との相互連携による産業支援の充実
- 地方拠点強化税制を活用した本社機能、研究開発拠点等の誘致
- 地域未来投資促進法に基づく優遇措置や企業立地助成金の充実

これまでの主な取組みと課題

- 大都市圏における**企業立地セミナー**の開催など
トップセールスによる企業誘致の推進
- **地方拠点強化税制に基づく整備計画認定**
件数：34件（R5.7月末現在）
- **地域未来投資促進法に基づく事業計画承認**
件数：121件（R5.7月末現在）
- **企業立地助成制度**における大幅な要件緩和や
新たな助成制度の創設による
工場の立地や本社機能等の移転促進



【課題】 若者や女性にとって魅力のある企業の誘致や、本社機能・研究開発拠点の移転・拡充のさらなる推進

(2) 販路開拓、ものづくり技術の発信

- ・「富山県ものづくり総合見本市<T-Messe>」の拡充
- ・首都圏や北陸新幹線沿線地域との商取引の促進
- ・富山県新世紀産業機構における販路開拓支援体制の強化

これまでの主な取組みと課題

- 富山県ものづくり総合見本市の開催
H22～R3にかけて6回開催

- 富山・長野連携推進東京圏商談会の開催

- 販路開拓マネージャーを配置し、商談会等のマッチング機会を提供

【課題】 県内企業の販路開拓機会の更なる創出・PR活動の強化

5 アジア等の海外展開への支援

国内需要の縮小が見込まれる中、環日本海諸国のほか、成長が著しいアジア地域（インド、東南アジア等）への県内企業の海外ビジネス展開の拡大を支援

現行の戦略

- ビジネスサポートデスクやJETROとの連携を通じた現地支援体制の強化
- アジア新興国等への経済訪問団の派遣
- アジア新興国等で開催される国際見本市への県内企業出展支援
- 伏木富山港のコンテナ航路の活用
- 伝統工芸品の海外展開、海外向け商品開発、販路開拓の強化
- アジアからのバイヤー招聘等による商談機会の創出、マッチングの強化
- グローバル関連人材の育成強化

これまでの主な取組みと課題

- 令和4年10月、ベトナム・ホーチミンに「ホーチミンビジネスサポートデスク」、令和5年7月、ベトナム・ハノイに「富山デスク」を設置
- 令和4年12月18～23日の期間、ベトナムに富山県ベトナム経済訪問団を派遣
- とやま中小企業チャレンジファンド事業により、国際見本市への県内企業出展を支援
- 伏木富山港の活用につながるインセンティブ制度を設け、ポートセールス活動を推進
- 中国北京において県産品のPR展示会を開催するとともに、中国向け越境ECサイトに特設店舗「とやま館」を設置
- 県内事業者の非対面・遠隔でのオンライン海外販路開拓を促進するため、補助金の交付及び専門家によるアドバイス等の伴走支援を実施
- アジア地域等からバイヤーを招聘し、海外販路開拓商談会を開催
- アジア諸国の理系大学生と県内企業とのマッチング及び入国前の日本語教育等を実施

【課題】 これまでの取組の更なる推進及び新たな交流・展開先となる国・地域の模索

6 中小・小規模企業に対する総合的支援

中小・小規模事業者に対し、第4次産業革命の進展などの社会情勢の変化を踏まえ、生産性向上や技術開発、新しい分野への参入の支援のほか、創業や事業承継、資金調達、新商品開発から販路開拓まで含めた総合的支援を実施

現行の戦略

(1)IoT等の導入支援

- ・コンソーシアムによる最新動向や導入メリットを知る機会の創出、IoT導入プラン策定や実証実験の実施に対する支援
- ・IoTなど生産性向上に資する設備投資企業交流の場の創出
- ・IT、情報の専門家の県内企業への派遣等によ資への支援
- ・AIやRPAの活用セミナーの開催

これまでの主な取組みと課題

- 富山県IoT推進コンソーシアムの全体会において、IoT等の最新動向を学ぶ講演会及び意見交換を行う交流会を開催
- 企業のデジタル化段階に応じた各種研修を開催し、令和4年度は延べ81名が参加
- 新世紀産業機構にIoT・AIに関する相談窓口を設置し、相談対応、出前講座、企業への指導者派遣等県内企業のデジタル技術の導入を支援
- IoT導入モデル補助金(2件採択)、IoT・AIトライアル事業費補助金(4件採択)、IoT・AIステップアップ補助金(37件採択)等、IoT・AIツール導入への支援



【課題】 経営者層における業務改善効果の理解が進んでおらず、また企業においてIT人材の確保が難しい現状にあることから、経営者層への導入インセンティブを高め、企業内の人材育成につながる研修を開催していく必要がある。

(2) 技術等のある企業の事業承継支援

- 事業引継ぎ支援センターの充実、後継者人材バンクの活用による起業家等とのマッチング支援
- 行政、経済団体、金融機関、士業団体等からなる事業承継ネットワークによる事業承継診断の実施
- プッシュ型事業承継支援の実施（集中支援）

これまでの主な取組みと課題

- 令和3年4月に「事業引継ぎ支援センター」及び「事業承継ネットワーク事務局」を「事業承継・引継ぎ支援センター」に統合し、事業承継をワンストップで支援
- 同センターにおいて、令和4年度に事業承継診断を2035件、事業承継相談を315件実施
- 同センターにエリアコーディネーターを配置し、事業承継ネットワークと連携しながら事業承継ニーズの掘り起こしを実施
- 事業承継の機運を醸成するためのセミナーを開催するとともに、事業承継にかかる費用を支援する補助金を創設。あわせて事業承継を支援する制度融資や、税制を周知

【課題】 未だ県内企業の約4割が後継者未定であることから、引き続き事業承継の意識啓発から準備、実施段階に至るまで切れ目なく支援していく必要がある。

(3) 創業・ベンチャー支援

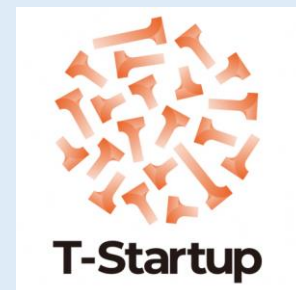
- ・「とやま起業未来塾」による起業家の輩出を通じたロールモデルの形成や、創業補助金など、創業支援の強化
- ・大学生を含む若者や県外移住者を対象とした起業支援
- ・相談窓口など支援機能の強化、創業支援施設の充実
- ・優れた技術力や新しいビジネスモデルでイノベーションを創出するスタートアップ企業にベンチャーキャピタルによる投資等の促進

これまでの主な取組みと課題

成長戦略の柱の一つに「スタートアップ支援」を掲げ、チャレンジ人材が県内でのびのびと活動できる環境整備のため以下を実施

●とやまスタートアップ「T-Startup」

- ・スタートアップを継続的に生み出すスタートアップエコシステムの形成を図る
- ・ロールモデル創出のため案件発掘や集中的な伴走支援、機運醸成等を実施
→昨年度はT-Startup企業を6社選定。6カ月間の集中的な支援を行った。



●創業支援センター及び創業・移住促進住宅「SCOP TOYAMA」

- ・県職員住宅を改修し、R4.10.28オープン。
全国でも先駆的な職住一体の施設
- ・起業家や移住者を呼び込む「ヒト・モノ・コト」が交流する拠点を目指す
→セミナーやワークショップ、創業相談を随時開催。
今年度は地域交流イベントを8月、11月に開催予定。



【課題】①ネットワークの構築、機運の醸成、②集中的な起業家支援、③シーズ案件の発掘・起業家支援

(4) 新世紀産業機構と一体となった総合的支援

- 新世紀産業機構の組織体制の強化
- オープンイノベーション等を取り入れた企業間連携・産学官連携を進めるためのディレクティング機能の強化
- よろず支援拠点等ワンストップ相談窓口体制や専門家派遣の充実
- 県内中小企業の技術力の情報発信
- 「とやま中小企業チャレンジファンド」等による中小企業の積極的な取り組みを研究・商品開発から販路開拓まで総合的に支援

これまでの主な取り組みと課題

● とやま県産学官コーディネータ連絡会の開催

企業ニーズと大学や研究機関の持つ研究成果のコーディネート活動を行っているコーディネータ等の連携を強化

【機関】 富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校、県産業技術研究開発センター、県新世紀産業機構、富山市新産業支援センターなど

● よろず支援・専門家派遣

- よろず相談件数 21,628件 (R1～R4累計)
- 専門家派遣件数 1,130件 (同上)

● 中小企業チャレンジファンドによる支援

- ものづくり研究開発 38件 (R1～R4累計)
- 販路開拓 73件 (同上)

【課題】 県内中小企業の持続的発展のため、新世紀産業機構との連携を強化し、デジタル化及びDXの推進や、カーボンニュートラルに取り組むことにより、生産性の向上や付加価値の創出を図る。